



ぶどう寺

真言宗智山派

国 宝

葡萄薬師

大善寺

甲州東郡七福神巡拝第一霊場
甲斐百八番霊場第十八番札所
甲斐八十八霊場第七十七番札所

史蹟ワイン民宿 大善寺

祈願・ご供養だけではなく、大善寺は「史蹟民宿」として参拝の皆様には開放されています。古刹ならではの悠然とした空間をお楽しみください。

さらに護摩祈願や座禅修行、秘宝の公開、特別精進料理などを介した法授も、深く信頼されております。ご希望にあわせて活用いただければ幸いです。

Stay&Vegetarian feast

宿 泊：お一人様1泊2食付5,980円(税別)～

収容最大50名様

精進料理ではありませんが、山梨の特産品を使ったボリュームある家庭料理です。

1室1人利用、その他特別日は最大1人追加料金が200円～500円かかります。長期滞在、合宿などの料金はご相談承ります。

特別精進料理：2,500円(税別)から昼食のみの受付(要予約)
※詳細はご予約時、ご希望に応じて調整致します。

自家製ワイン拝観・抹茶拝観

- 抹茶 茶 拝観券+抹茶 800円(税込)
- 自家製ワイン 拝観券+自家製グラスワイン(赤か白) 800円(税込)
- ほうとう御膳 拝観券+ほうとう御膳[要予約] 2,000円(税込)



交通 Access

- 車 高速中央道 勝沼ICから2分
- 電車 JR中央本線 勝沼ぶどう郷駅下車
遊歩道を徒歩30分または車で5分

ご案内 Information

- 所在地 〒409-1316 甲州市勝沼町勝沼3559
- 拝観料 お一人様500円
団体割引(20名様以上お一人様300円)
- TEL 0553-44-0027 FAX 0553-44-3153
- ホームページ <http://katsunuma.ne.jp/~daizenji/>

真言宗智山派 **ぶどう寺**

柏尾山 大善寺

由来

当寺の開創は養老二年（718）。行基菩薩が日川溪谷岩上で霊夢により感得された像―右手に葡萄をもち左手で結印した薬師如来と日光・月光菩薩の薬師三尊―を刻み安置して開かれたと伝えられます。

奈良時代・聖武天皇の御代には鎮護国家の勅額と寺山号を賜り、五二堂三千坊を教える隆盛をみました。

往持の堂宇は平安初期に焼失しましたが、天禄二年（971）に三枝守国が再建して以来、平清盛、源頼朝の寺領寄進や堂塔修復、北条貞時による薬師堂再建立、仏師・蓮慶作の日光・月光菩薩や十二神将の制作、武田信春の厨子寄進等々…。時の為政者と大衆の深い信奉のもとに歴史を重ねております。



開創以来およそ千三百年を数えようという当寺の故事来歴を思い巡らし、豊かな自然のたたずまいを、心ゆくまで御探訪ください。

現・薬師堂は昭和二九年

（1954）の根本的な大解体修理で旧観に復され、その翌年に厨子と共に国宝となりました。そして、度重なる災禍を逃れて今日に至る薬師三尊像等の諸仏を、安置しています。

文化財

◆国宝

薬師堂 弘安九年（1286）

厨子 建武九年（1355）

◆国指定重要文化財

薬師如来像 平安初期

日光・月光菩薩像 平安初期

十二神将 鎌倉時代・嘉禄三年

日光・月光菩薩像 鎌倉時代・嘉禄三年（1227）

◆県指定文化財

山門 江戸時代に再々建

鰐口 徳治二年（1307）

役行者像 鎌倉時代

庭園 江戸時代・寛永年間

古文書類（平清盛、源頼朝、北条氏一族、武田信春・信玄、織田信長、豊臣秀吉など計72点）

※伝・信玄奉納の不動明王像、弁財天、『武田勝頼滅亡記』理慶尼肖像画、太刀など多数収蔵。

年中行事

- 1月1日～3日 初詣護摩祈願
- 1月8日 初薬師
- 2月3日 節分追儼式
- 3月23日 大施餓鬼会
- 5月8日 藤切会式大祭典
- 8月6日～8日 水子地藏尊祭
- 9月19日 三枝守国公供養祭
- 10月第1土曜日 鳥居焼き祭典
- 12月22日 星供祭

奇祭



●藤切会式

えんのおづゆ

修験道の開祖、役小角が大蛇を退治し人々を救ったと1300年前から伝わるお祭りです。大蛇を形どった藤の根を修験者が切り落とし、持ち帰ると果実豊作や魔よけなどにご利益があるといわれ、毎年壮絶な奪い合いが繰り広げられます。



●鳥居焼まつり

10月の第1土曜日、柏尾山の中腹に、赤い鳥居が浮び上がります。京都の大文字焼きと同じくお盆の送り火として古くから受け継がれてきた伝統のお祭りです。



県指定文化財 圧倒されるほど重厚な構え
山門

現在の山門は、元禄17年(1704)に、土屋惣藏の子孫、常陸国土浦3代城主土屋定直により建立された山門が焼失した後、寛政10年(1798)に土浦7代城主土屋英直により再建された。三間一間の二重門で、下山大工土橋文蔵茂祇等により建築された。

近藤勇

新撰組の近藤勇が大善寺境内の柏尾坂で兵をかまえて官軍と戦ったと言われています。



理慶尼

理慶尼は信玄公のいとこと言われ、出家して当寺に居住しました。武田家の最期を記した「理慶尼記」は、彼女の墓と供に大善寺に残されています。



手紙と文書



県指定文化財 典型的な江戸時代初期の手法
庭園

低い山裾に滝及び築山を組み、その下部に池を掘り、水を流し、右手に亀出島、左手に鶴石組を構成、又、中島を造らず出島をそれにかえるなど、江戸時代初期の特徴が現れています。

本庭の最大の特徴は立石手法がとられていることで、築庭者は三枝守全と考えられています。





国指定
重要文化財

そのお姿は五年に一度の御開帳のみ

薬師如来像(葡萄薬師)、日光・月光菩薩像

平安時代初期の大善寺本尊薬師如来像、日光・月光菩薩像は、秘仏として厨子(国宝)の中に納められ、普段は拝むことが出来ません。

鎌倉時代の日光・月光菩薩像は、厨子両脇の須弥壇上にある国の重要文化財「十二神将立像」と同じく、仏師蓮慶により制作(1227～1228)されました。

国宝

関東で最古の木造建造物

大善寺 本堂(薬師堂)

本堂に薬師三尊像を安置しているので「薬師堂」とも呼ばれます。弘安9年3月16日(1286)の刻銘があり、元寇(弘安の役)の数年後に建立、築720年以上が経過し関東周辺で最も古い建物になります。流麗な線を持つ檜皮葺きの屋根は落ち着きを見せ、鎌倉時代の建築の力強さがよく現れています。



行者堂



山門から続く参道とあじさい



鐘楼



「藤の花の会」の植樹により、毎年咲きそろう藤の花。



ぶどう畑と山門

開山千三百年の歴史に見守られ

悠久の大地に眠る～永代供養～

春は、美しく霞む桃源郷を眺め、
夏は、香り豊かなぶどうの実りに
 生命の輝きを感じ、
秋は、紅葉の静けさに心満たされ、
冬は、西に望む南アルプスの雄大な姿に、
 はるかな時の流れを思う。

お薬師様の御許に眠る永代供養を御希望の方
大善寺寺務所までご連絡ください。

- ・永代供養料 御一人様 三十八万円。
 (御夫婦 六十八万円)
- ・三十三回忌までご供養を行い、納骨後の
お支払いはございません。

詳細につきましては、大善寺寺務所
(電話0553-44-0027)まで
お問い合わせください。

柏尾山大善寺